

平成30年2月定例会 総括審査会

川田昌成議員

委員	川田 昌成
所属会派 (質問日現在)	ふくしま未来ネット
定例会	平成30年2月
審査会開催日	3月19日(月曜日)



川田昌成委員

まず、食糧備蓄について聞く。

備えあれば憂いなしという話があるが、東日本大震災の記憶を風化させることのないよう、食糧備蓄について県はどのように考えているのか。

危機管理部長

そなえるふくしまノートを活用した各種防災教育の中で、家庭における食糧備蓄の重要性を呼びかけるとともに、防災訓練等を通じて赤十字奉仕団や自主防災組織による炊き出しなど、地域の取り組みを支援していく。

また、外部からの支援が届くまでの3日分の食糧や飲料水を県内16カ所に備蓄するとともに、迅速、的確な搬送に向けて、市町村や災害時応援協定を結ぶ倉庫、運送、ボランティア団体などの日ごろからの関係の強化に努めていく。

川田昌成委員

先ほどの三村委員への答弁で、備蓄よりも防災の定着との話があり、それは市町村との関係が非常に必要だと思うが、その点について考えを聞く。

危機管理部長

市町村とは日常的にさまざまな機会を活用して、防災関係機器の伝達訓練、災害が発生したときの担当者ベースでの情報交換の仕方といったきめ細かで日常的な情報共有に努めている。

川田昌成委員

県としては何万食くらいの備蓄をしているのか。

危機管理部長

先ほど3日分と話をしたが、御飯でいうと9万食、飲料水でいうと6万本、小さな子供の粉ミルクでいうと1.2万本といったものを合わせて約3日分備蓄している。この3日分で何とかしのぐと全国からの応援がある。熊本大震災等でもあったように、必要な物資をこちらから要望しなくても政府が一方的にプッシュ型支援の形で支援する体制が少しずつ整ってきたため、とりあえず3日間何とか我々地域で頑張って、持ちこたえたいという気持ちである。

川田昌成委員

災害時は万が一があるため、その辺の体制を首尾よくしてもらいたい。
部長は長い間勤めたが、何か県民に対して思いがあれば一言願う。

危機管理部長

私は36年間、県職員として勤めてきて、最後の1年間で危機管理部長として県民の安全・安心を守るために、微力ではあるが日々持てる力を最大限に注いできたと思っている。

一つ一つの危機事象への対応に当たっては、常に情報収集を心がけ、発生の兆候を事前に捉えるように対処してきたつもりである。

あわせて、それぞれの対処方針を決めるに当たっては、アメリカの将校が訓練をする際に少なくとも2つのことを考えなさいと指導しているものがある。「most dangerous course of action」で最も危険な事態の動き、もう一つが「most likely course of action」で最も可能性の高い事態の動きである。私としても常にこういった事態を予測しながら最悪な事態を頭に置いて、特に初動の対応について、初期消火でなるべく消せるように対応してきたつもりである。

我々はあすまでの議会をもって県職員を退職するが、こういった気持ちをしっかり次の世代に引き継ぎながら、次の世代には新しいステップに対して力強くステップアップすることを期待しながら、私の最後の挨拶とする。

川田昌成委員

長い間御苦労さまであった。

次に、商工労働部長に聞く。

企業は人なりという話があるが、大変厳しい環境で中小企業の支援にいち早く取り組んでいるふくしま産業復興企業立地補助金について、これらの成果と課題を聞く。

商工労働部長

これまで505件の新增設を指定し、6,316人の新たな雇用が見込まれ、そのうち467件が地元企業の活用であり、地域の産業復興に大きく貢献している。

今後とも企業立地補助金を活用しながら、企業の設備投資を促進するとともに、企業間ネットワークの構築支援やビジネスマッチングの開催による販路拡大を後押しするなど、地域経済を牽引する地元企業をしっかりと支援していく。

川田昌成委員

その支援の中で、何か成果がありこの企業は大したものだという企業があれば聞く。

商工労働部長

何件か事例を紹介すると、例えば会津若松市の医療機器製造企業であるが、震災後、新たな建屋と設備を導入し、投資前は1,200人の従業員であったが、大体1.5倍の1,800人となり、地域に大きな波及効果をもたらしている。

次はサプライチェーンの構築につながった案件であるが、大熊町からの避難企業で会津若松市に立地したと同時に雇用が生まれ、資材供給元となる企業を呼んできたというように、サプライチェーンの構築に貢献している企業も出てきている。

また、企業立地補助金を使って、新分野へ事業進出する企業もある。

例えば泉崎村に立地している飲料用のボトルキャップシールを製造している企業であるが、設備投資をして新たに航空宇宙産業の部品も扱えるようになって事業拡大した企業もある。

このように、地元の雇用に貢献している企業、サプライチェーンの構築に貢献している企業、新分野に進出する企業、

さまざまに企業立地補助金を使い設備投資をして効果があらわれてきているため、今後とも、この企業立地補助金を有効に活用して、県内企業の復興再生につなげていきたい。

川田昌成委員

継続は力なりという話があるが、せっかく支援した企業をこれからもバックアップしてほしい。

聞くところによると部長も退職とのことであるが、中小企業に起爆剤でもあれば聞く。

商工労働部長

震災から7年が経過した。

この間、商工労働部としては、ただいまの企業立地補助金を活用した企業誘致や被災事業者等の事業再開の継続支援、新産業の育成など、さまざまな取り組みを実施した。一步一步取り組みの成果が見えてきているが、依然として県内の中小企業、小規模事業者は厳しい経営環境に置かれており、また、新産業についても、拠点として整備したふくしま医療機器開発支援センターが大変な状況に陥っており、課題も山積している。復興道半ばと考えている。

福島の再生をなし遂げるためには地域経済を支えている中小企業、小規模事業者が元気を出して、そこで働く者の生業をしっかりと確立することが重要であるため、今後とも商工労働部としては一人一人の事業者に寄り添ったきめ細かな支援を行うと同時に、将来の産業を担う若者が夢と希望を持てる多様な産業の育成にチャレンジすることがミッションだと思っている。

その意味で、商工労働部の職員については今後ともチャレンジを続けてもらいたいし、私自身も何らかの形で貢献していきたい。

議員の皆様にはいろいろ叱咤激励、厳しい指導を受けたが、引き続きよろしく願う。

川田昌成委員

大変長い間御苦労さまであった。県庁で培ってきた英知を県民のために大いに活用してもらえるよう期待している。

次に、河川の環境についてであるが、きのうの八木沢トンネルの完成について大変御苦労さまであった。ところが、残念なことに少しトラブルがあったようであり、仕事が終わった後の後始末は大変ではないかと思う。

私は川が大好きで、子供のころに川によく遊びに行ったが、河川の環境についての県の取り組みを聞く。

土木部長

良好な河川環境の確保については、地域住民や河川愛護団体等の協力を得ながら、清掃、美化活動を初め河川管理上必要な除草等を実施している。

今後は地域のさまざまな実情に的確に応えるため、作業の省力化が可能な手押し型の除草機械を河川愛護団体等へ貸与するとともに、建設機械等に取りつける除草装置を新たに導入し、維持管理委託会社に貸与するなど、効率化を図りながら、良好な河川環境の確保に取り組んでいく。

川田昌成委員

川と親しむ点で、地域の河川のクリーン作業にはよく出席するが、少しボランティアの域を超えているのではないかと思う。その点についてどうか。

土木部長

河川や道路における公共土木施設の良好な環境を図っていくためには日常の維持管理が非常に重要である。

県内の愛護団体には清掃、除草、花植えなどの活発なボランティア活動をしてもらっているが、その対応にはやはり限られた範囲があると受けとめている。

平成30年度当初予算において、維持補修費の増額計上を提案しているが、施設管理者としても、効率的かつ効果的に維持管理ができるように、省力化につながる機械を導入し、しっかりと維持管理に取り組んでいきたい。

川田昌成委員

部長も長い間御苦労さまであった。

何か最後に思いがあれば聞く。

土木部長

私も36年、土木の技術者として県に勤めてきた。

これまで社会資本の整備、管理を担ってきたが、特に道路に関する思いが強くなり、縦横6本の連携軸、特に高速道路の整備促進には力を入れてきた。

また、東西を連携する道路、広域的な道路といったものにも力を入れてきた。

また地域づくりを支援するためにソフト、ハード両面で地域を支えていく取り組みも行った。

震災後7年間は非常に苦労したが、おかげさまで今年度末までに4,700を超える復興公営住宅ができる。

また、津波被災地における公共土木施設についても、今年度末で84%ほど復旧し、来年度にはおおむね95%に近い復旧が見込まれている。

まず完全に復旧、復興をなし遂げることを、後継にしっかりと引き継いでいきたい。

社会資本の整備、管理が県民の安全・安心に非常に重要であるため、そういった取り組みを継続していけるように、後進に伝えていきたい。

川田昌成委員

長い間本当に御苦労さまであった。

この定例会で私は一般質問と総括質問を行い、皆の審議に感謝し、なおかつ福島県が、執行部と議会が一体となってさらなる復興に向けて努力することを誓って、私の質問を終わる。